

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
生きる力にあふれる子	<自分づくり> <言語能力>

### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○一人ひとりを大切にし、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の定着を図り、子どもの表現力を育て、学力の向上を図ります。</li> <li>・様々な「人」「こと」とのかかわりの中で、互いに認め合い、自己有用感を感じることができる学校づくりを行います。</li> <li>・子どもたちが安心して過ごせる、安全な学校づくりを行います。</li> <li>・家庭・地域とともに子どもたちを育て、人とのかかわり合いを通して、学びの充実を図ります。</li> </ul>

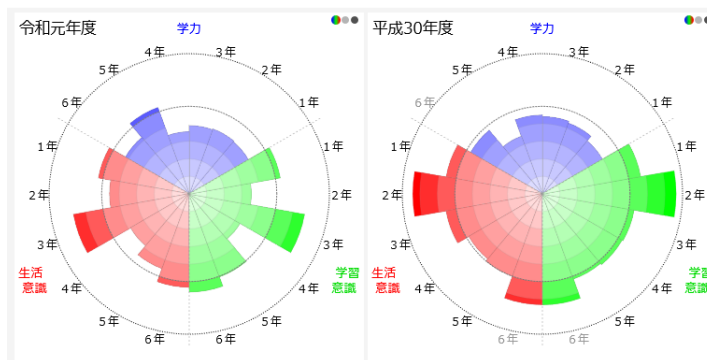
### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組			
<table border="1"> <tr> <td>確かな学力</td> <td rowspan="2">スキルタイムでは、学習に沿った問題を準備して児童の意欲を高めたり、全学年一斉に補充の時間を設けたりして基礎基本の定着を図る。授業を通して、様々な言葉にふれて語彙力を高めたり、学習形態を工夫して発言の機会を増やしたりして、表現力の向上を図る。家庭学習では、家庭の協力を仰ぐだけでなく、授業との効果的なつながりを意識して課し、学習内容の定着を図る。</td> </tr> <tr> <td>担当 評価・課程委員会</td> </tr> </table>	確かな学力	スキルタイムでは、学習に沿った問題を準備して児童の意欲を高めたり、全学年一斉に補充の時間を設けたりして基礎基本の定着を図る。授業を通して、様々な言葉にふれて語彙力を高めたり、学習形態を工夫して発言の機会を増やしたりして、表現力の向上を図る。家庭学習では、家庭の協力を仰ぐだけでなく、授業との効果的なつながりを意識して課し、学習内容の定着を図る。	担当 評価・課程委員会	
確かな学力	スキルタイムでは、学習に沿った問題を準備して児童の意欲を高めたり、全学年一斉に補充の時間を設けたりして基礎基本の定着を図る。授業を通して、様々な言葉にふれて語彙力を高めたり、学習形態を工夫して発言の機会を増やしたりして、表現力の向上を図る。家庭学習では、家庭の協力を仰ぐだけでなく、授業との効果的なつながりを意識して課し、学習内容の定着を図る。			
担当 評価・課程委員会				

## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

### (1) 全体的な概要

学力に関しては、学年によって平成30年度からの伸びている学年、下がっている学年が分かれています。また、全体で見ると、市平均を下回っている学年が多い。学習意識と生活意識については、平成30年度はほとんどの学年が市平均を上回っていたが、令和元年度は大きく下回る学年があり、学習・生活ともに意識の二極化が見られる。



学習意識について、前年度からの低下が見られた学年については、いずれも他教科（国語、社会、理科）に比べて算数の意識が低かった。校内研究で算数を重点的に研究しているが、今回の結果を受け、改めて児童の実態に即した授業づくりを考えていく必要がある。生活意識については、特定の側面が極端に落ち込んでいるわけではなく、全体的に前年度からの低下が見られた。

### (2) 学習意識の低下の考えられる要因と改善の手立て

学習意識の低かった学年だけでなく全体的に、「算数の授業は、どの程度分かりますか。」の問いに対する肯定的な数値が低かった。大まかに捉えると「授業が分からないから、学力が付かず、学習意識が高まらない」という流れが生じ、意識が高まらないから、学習に満足に取り組みせず、学力が付かないという負の循環に陥っていることが考えられる。この循環を打破する切り口はいくつか考えられるが、一番に取り組みするのは、授業改善である。

新教育課程の全面実施に伴い、評価について、A・B規準の明確化、B規準に満たない児童への様々な手立てなどを学年や全体の組織として改めて研修計画を綿密に立て、研修時間を確保する必要がある。さらに、児童が自分のやるべきことを理解し意欲的に進んで取り組めるような指示・発問や、学習の流れが記され児童の思考の拠り所となる板書の在り方など児童が分かったと実感できる授業づくりの基盤を学校全体として整えていきたい。

### 3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組（○資質能力を身に付けている具体的な姿 ・そのための手立て）	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆感じたことを言葉にする力</li> <li>◆主体性・積極性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや考えを言葉にして伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりする姿。</li> <li>・言葉にできず困ったときは、自分の気持ちを表現できるように支援をする。（教師が気持ちを汲み取って、思いを表現できるように支援する。表情カードや気持ち言葉を準備する。）</li> <li>・がんばっている姿を、全員で認め合える機会を設定する。（朝の会・帰りの会での今日のキラキラさんなど）</li> </ul>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分らしさを発揮しようとする姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや考えを言葉にしようとしていたり、友だちの思いを受け止めようとしていたりすることで自分の思いをもとうとする姿。</li> <li>・言葉にできず困ったときは、自分の気持ちを表現できるように支援をする。</li> <li>・がんばっている姿を、全員で認め合える機会を設定する。（朝の会・帰りの会での今日のキラキラさんなど）</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆伝える内容を明確にする力</li> <li>◆自分らしさを発揮しようとする姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の得意なことや好きなことにさらに進んで取り組んだり、苦手なことにもチャレンジし、やり遂げようとしていたりする姿。</li> <li>・それぞれのよさが発揮できる場を設定する。</li> <li>・スモールステップを積み重ね、自信をつけられるようにする。</li> <li>・互いのよさを認め合い、高められるようにする。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分らしさを発揮しようとする姿勢</li> <li>◆メタ認知する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをもち、相手に伝わるように内容を整理して積極的に伝えようとする姿。</li> <li>・ノートに自分の考えを書くことで考えを整理する。また、めあて設定→ふりかえりの流れを重視し、学びを継続させる。</li> <li>・グループ活動などを充実して、自分の意見を伝えたり、友だちの意見を認めたりする中で相互理解を深められるようにする。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分らしさを発揮しようとする姿勢</li> <li>◆他者の考えや思いに対する受容性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分や友達の考えや思い、願いを大切にしながら、見通しをもち、進んで活動する姿</li> <li>・ふり返りジャーナルを通して、自己の活動をふり返りながら自分の行動を改善したり、次への意欲をもったりできるようにする。</li> <li>・児童が試行錯誤していることを実行できる機会や友達と共有する時間をしっかりと確保し、体験を通して理解を深め、新たな気づきが多くできるようにする。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをもち、互いに表現しあう中で、自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを深めたり、友だちの考えを受け入れようとしていたりする姿</li> <li>・いろいろな方法で、自分の考えを表現できるよう、場の設定や学習展開を工夫する。</li> <li>・課題を明確にしたり、解決の見通しをもてるような支援をしたりする。</li> </ul>	
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分らしさを発揮しようとする姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりが自分らしさを発揮し、互いを認め合いコミュニケーションをとる姿勢を大切にする姿。思いやりや優しい気持ちを大切にし、自分の思いや考えを伝え、共感し、考えを深める姿。</li> <li>・自分の考えを言葉にできない場合は、選択肢や絵カードを用意し、選ぶことで自分の考えを表現できるように支援する。</li> <li>・朝の会、帰りの会などで、意図的・継続的に自分の思いを発表できる場を作り、自分の思いを言葉にしていくなかで経験を重ねていく。</li> </ul>	